

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 植物 RNAi の理解と応用：自在な人工ゲノム発現にむけて

2. 研究代表者： 岩川 弘宙（立教大学 理学部 准教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、植物の RNA サイレンシング機構や小分子 RNA 増幅機構の解明や、RNAi を応用した新たな遺伝子発現制御ツールの開発を目指している。

フェーズ 1 では、核内 RNA サイレンシングで中心的な役割を果たす clade 3 AGO の小分子 RNA 特異性や、それらの AGO が形成する RISC の標的認識特異性の解明など、着実に成果を創出している点が評価できる。フェーズ 2 では、内在の AGO を用いた遺伝子発現制御技術の開発が適切に計画されており、翻訳制御の技術開発の進展が期待される。

以上